

6月1日(水)～7日(火)は水道週間

第64回 水道週間 全国統一スローガン 大切な水と一緒に暮らす日々

園施設工務課 ☎(582)1128 FAX(582)5780

水道週間は、水道について皆さまの理解と関心を高め、今後の水道事業の取り組みにご協力いただくために毎年実施されています。

この機会に、日常生活に欠かすことのできない水道に対する理解を深め、水という資源の大切さを見直してみましょう。

水道週間にあわせて、市管工事業協同組合と協力し、市内小学生へ、消せる蛍光マーカーを配布しました。

守山市水道 Q&A

Q水道水の水ってどんな水なの？

A守山市の水道水は、琵琶湖吉川沖から取水した湖水と、立入町および播磨田町地先の井戸から取水した地下水を浄化処理した後、皆さまに届けています。

安全な水を届けるため、水質検査

を実施し、結果を市ホームページや広報でお知らせしています。

Q市内で年間どれくらいの水道水が使われているの？

A令和3年度の1年間で約89億9,000万リットルの水道水が使用されました。

平均1日当たり2,463万リットルで、これは小学校などにある25mプール^{*}約68杯分に相当します。

^{*}縦25m×横12m×高さ1.2m=360㎡=36万リットルで計算

◆水道水をおいしく飲む方法

水道水には、殺菌のために塩素を入れることが法律で義務付けられているため、おいしくないと感じる人もいると思います。その場合は、「水道水にレモン汁を数滴加える」、「冷蔵庫で10～15℃に冷やす」、「きれいな入れ物に一晩くみ置きしておく」といった方法を試してみてください。また、水をやかんなどで沸かしてから、ふたを開けてさらに5分程度沸騰させることで塩素を取り除くことができます。ただし、消毒効果が少なくなるため、早めに使い切るよう心掛けてください。



*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

はなしの
タネ

外国人のための法律ガイドブック

法を知る・法を守る・法を味方にする 中国語版とやさしい日本語版を発行



滋賀日中文化サロンの皆さん(劉 穎さんは前列右)

5人のボランティアスタッフで構成する「滋賀日中文化サロン」が、外国人向け法律のガイドブック(中国語版・やさしい日本語版)を発行しました。

サロン代表の在日38年になる劉 穎^{りょう えい}さん(勝部一丁目)は、自身の体験や、翻訳・通訳の活動を通して、文化や教育事情の違いから知らずに法に触れたり、権利の主張ができなかったりする事例などを見聞きして、分かりやすい日本の法律ガイド本の制作を目指しました(市民提案型事業)。

専門家のアドバイスを受けながら劉さん自身が日本の法律を学び、中国語に翻訳して書き下ろし、メン

バーと推敲を重ねてようやく完成。公共施設などに設置して役立ててもらおう予定とのことです。劉さんは「いろいろな人の協力でようやく完成しました。ますます外国籍の市民も増えると思いますので、さまざまな場面でガイド本を役立ててほしいと思っています」と話していました。